2012.12.3 改訂

【図２】

南ユダ王国の年代表

●南王国は、北イスラエル王国と違って王朝の交代がない。ただ、アハズヤのあとのアタルヤによる治世６年間は、ダビデ王朝が中断した唯一の期間である。マタイ福音書の系図と比較すると、系図の方では No. 6～No. 9 が省略されている。省略の理由として、この４人が家来によって殺されたことが考えられる。●王の評価の基準は、「主に忠実だったか、偶像礼拝に傾いたか否か」であり、必ずしも王の政治的手腕や世俗的業績についての評価ではない。ユダ王国の宗教改革は、周辺諸国、特に、アッシリヤやエジプトの衰退と密接な関係がある。

	王　名	即位	治世期間	評価	預言者の活動	南北関係	備　考
1	レハブアム	931	13 年	悪		対立時代	ユダ王国第三代目の王
2	アビヤム	913	3 年	悪		分裂王国時代	
3	ア サ	911	41 年	○ 善			徹底的な宗教改革を断行
4	ヨシャパテ	872	25 年	○ 善		協調時代	宗教改革の報酬としての平和と繁栄
5	ヨラム(戦死)	854	8 年	悪			妻の影響でバアル礼拝を許容する
6	アハズヤ (暗殺)	841	1 年	悪			
7	アタルヤ(暗殺)	841	6 年	●最悪		対立時代	ヨラム（南王国の王）の妻、イゼベルの娘
8	ヨアシュ(暗殺)	835	40 年	○ 善			大祭司エホヤダにより即位する
9	アマツヤ (暗殺)	796	29 年	○ 善			
10	ウジヤ(アザルヤ)	790	51 年	○ 善	イザヤ		晩年、高慢になりらい病になる
11	ヨタム	750	16 年	○ 善	ミカ		民は偶像礼拝と不正に走った
12	アハズ	735	16 年	悪		722 サマリヤ陥落	バアル礼拝を再び導入
13	ヒゼキヤ	729	29 年	善		ユダ単一王国時代	宗教改革　エジプトと同盟を結ぶ
14	マナセ	696	55 年	●最悪	預言者空白時代		アッシリヤに従属する偶像礼拝を再び導入
15	アモン(暗殺)	641	2 年	悪		612 ニネベ陥落	アッシリヤの国家宗教を導入
16	ヨシヤ(暗殺)	639	31 年	◎最善	エレミヤ (624 活動)	新バビロン帝国台頭	律法の書による宗教改革を断行する
17	エホアハズ(獄死)	608	3ヶ月	悪			エジプトの属国となる
18	エホヤキム	608	11 年	悪		597 第一捕囚	エジプトによって即位させられる
19	エホヤキン	598	3ヶ月	悪	エゼキエル	586 第二捕囚	エレミヤの預言の巻き物を焼く
20	ゼデキヤ(獄死)	597	11 年	悪		582 第三捕囚	ネブカデネザル王に反抗し捕囚の身となる
		586 年エルサレム陥落(神殿が破壊される)バビロン捕囚 (列王記第二 25 章,28 節)					